

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	有限会社 重富商事 邸新築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県横浜市瀬谷区阿久和西一丁目11番1、11番2、11番4、11番3の一部、11番17の一部	構造	S造
用途地域	第一種低層住居専用地域・第1種高度地区	平均居住人員	91 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年8月29日
敷地面積	3,140 m ²	作成者	積水ハウス株式会社 横浜シーメソン支店
建築面積	817 m ²	確認日	2017年9月1日
延床面積	2,348 m ²	確認者	積水ハウス株式会社 横浜シーメソン支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 92% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 92%

④上記+: 92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・室内環境・サービス性能・室外環境並びに省エネルギー性能・資源マテリアル・敷地外環境に対して、全体的に環境性能の向上と環境負荷の低減にバランス良く配慮した計画としている。		—
Q1 室内環境 ・基準値に対して71%外皮性能を満たす計画としている。 ・住戸専用・居室の昼光率はレベル5の水準を確保している。	Q2 サービス性能 ・居室は10㎡以上を確保することで、機能性、使いやすさに配慮した計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) ・高木~低木を適宜植栽し、沿道添いに良好な景観を形成するよう努めている。
LR1 エネルギー ・BPIm=0.9のレベルを確保し、またLED照明を使用するなど、設備の一次エネルギー消費量の低減に努めている。	LR2 資源・マテリアル ・躯体と内装仕上材を容易に分別可能な工法(LGS工法)を採用するなど、資源・マテリアルの使用量低減に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 排出率92%とし、一般的な建物(参照値)を上回っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



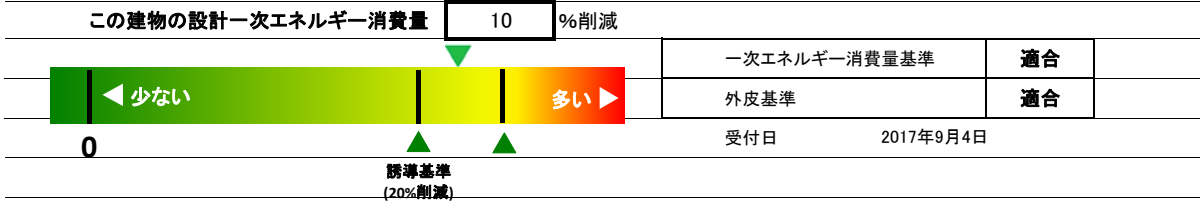
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **有限会社 重富商事 邸新築工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①住宅性能評価 断熱等性能等級4取得 非住宅外皮性能 BPI_m=0.71

③LED照明等の採用によりBEI_m=0.9を達成

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩共用部昼光率=3.6%・居室=5.4%確保している

⑪F☆☆☆☆の建材を全面的に採用し、その他VOCも放射量の少ない材料を使用。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑫病室は10㎡以上/人を確保している

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑲建物の配置を敷地境界よりセットバックして配置し、周辺に圧迫感のないようにしている

⑳沿道に適宜植栽し、沿道添いに良好な景観を形成するよう努めている

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	
